堺 SAKAI 2040 GRAND DESIGN 2040 グランドデザイン

堺 SAKAI 2040 GRAND DESIGN 2040 グランドデザイン

ダイナミックに変わる交流拠点

多様な人がまじわり、活力をけん引する拠点

まちなかで滞在できる緑豊かな空間

歩行者主体に再編された道路空間

魅力的な店舗が連続し、楽しみながら歩ける空間

新たな産業・スタートアップが生まれ育まれるエリア

創造的な活動が生まれる場

歴史を感じる古墳群・環濠

「保全」と「賑わい・集客」が両立した交流拠点

環濠の水辺を活かした魅力ある空間

堺の新たな都市魅力の源泉となる、ウォーターフロント

ターミナル機能などが集積し、生まれ変わったベイエリア

水と陸地のボーダーレスな心地良い空間

海辺を楽しめる空間

マリンレジャーなどによる、新しい使い方の水辺空間

持続的で豊かな暮らしを楽しむ泉北ニュータウン地域

様々な施設や楽しみ方がミックスされた次世代のニュータウン

豊かな時間に浸ることができる公園空間

農と食を満喫できる田園地域

1. 堺グランドデザイン2040とは

2040年に向けた堺の未来像を示す

「堺グランドデザイン2040」は，20年後の堺がめざすべき将来像をみんなで共有し，より良い都市の実現をめざすためのものです.

グランドデザイン策定の視点

1　先人の蓄積・都市の歩みを踏まえつつ，新しいステージへ

- 独自の歴史・文化資源，優れた産業集積・学術環境，多様な特色を有する拠点，豊かな緑といった本市がこれまで培ってきた都市ストックを活かし，大阪・関西の成長をけん引する新しい価値を産みだす.
- 「訪れたい」「働きたい」「住みたい・住み続けたい」都市となるような存在感をUP.

2　未来に向けた様々な変化をとらえる

- 人口・社会構造の変化や技術革新などの要因に加え，関西で動き出すインフラ整備・プロジェクト等も踏まえ，未来を考える.
- 堺がこれからも継続して発展していくため，将来のあるべき姿を設定し，未来に向けた大きな方向性を示す.

3　海外の都市をベンチマークにする

- 主に海外の都市をベンチマーク（指標）に設定し，より広い視野をもって，最新のトレンドを取り入れる.

2040年に向けた推進方策

- 目標とする2040年に向けて，グランドデザインの内容を次期基本計画や都市計画マスタープランの参考としながら，段階的な実現を図ります.
- グランドデザインは，
  - ・民間投資の誘発，民間の参加・連携・協調
  - ・周辺自治体や関係機関との連携
  - ・分野や政策を横断した取組み　を通じて実現をめざします.

2. めざすべき堺の将来像

【20年後の未来の堺を取り巻く状況】

【人口・社会】
- 2040年の市人口は72万人，高齢化率34%に
- 生涯現役世代の増加
- グローバルな人口移動や交流・雇用が一層拡大

【経済】
- AI，ロボット，自動運転，情報通信などが雇用や交通に影響
- シェアリング経済，ヘルスケア関連ビジネスなど，新しい社会や市場を支える産業やサービスの興隆

【環境・防災】
- 地球温暖化・気候変動・エネルギー問題の深刻化
- 持続可能な開発・環境技術や投資のスタンダード化
- 南海トラフ地震等，災害に対応した都市リノベーションの要請

【暮らし】
- スマートシティ・コミュニティや健康長寿など，技術革新によるライフスタイルの変化と，生活の質への欲求
- 新たな世代によるライフスタイルの創造

【広域的インフラ】

状況の変化を契機ととらえ，
堺の強みを活かして
望ましいシナリオを実現

豊かな歴史・文化を活かし，新しい価値を産みだす活力
国内外から人が集まり，未来への期待があふれる

【関西のゲートウェイ都市】【悠久の時を超え未来へ歩む都市】

（1）国内外の交流が活発化し，多様な人が集まる都市
- 堺が有する歴史・文化のストーリーを活かし，インバウンドを誘引
- 将来を支える多様な人材が集まる，優れたビジネス・学術環境を形成

（2）人中心の安全・快適な都市空間を実現する都市
- 歩行者が安全・快適に過ごせるウォーカブルな都市の実現に向けた空間の再編
- 交通ネットワークの機能強化と，新たな技術を活用した移動環境（モビリティ）の充実

（3）新たな産業を創出し，地域の経済をけん引する都市
- 伝統と先端の融合，産学公連携などによる，新たな価値や産業の創出
- 様々な人や企業が魅力を感じ，投資したくなる都市の形成

（4）潤いのある生活環境と健やかなライフスタイルを提供する都市
- 誰もがいきいきと暮らし続けられる，便利で快適な環境と健康・長寿社会の実現
- 豊かな緑や水辺を活かした，憩いと喜びにあふれる生活空間の提供

3. 2040年の堺の姿 ～各エリアの方向性

「訪れたい」「働きたい」「住みたい・住み続けたい」都市へ
～それぞれの地域が特性を活かしながら、ネットワークでつながることで強みを発揮～

◆堺浜 ※

▶J-GREEN堺との相乗効果により，多様なアクティビティを楽しめるスポーツアイランドへ

◆堺駅・堺旧港 ※

▶関空，国土軸を結ぶ関西の広域的なアクセスの中心，玄関口として多様な交流を創出
▶ウォーターフロントをダイナミックに活かした，心地よいアミューズメントハーバーへ

◆環濠（かんごう）エリア ※

▶環濠の水辺や歴史的なまちなみを活かした堺ならではの来訪魅力を創出
▶堺の歴史・文化に触れる機会や新たな魅力の創出など，愛着を持てる個性あるエリアへ

◆堺　東 ※

▶暮らす・働く・訪れる人がまじわる交流拠点へ
▶堺東駅の更新や憩いの滞留空間等を創出し，多様な人が集い，歩きたくなるウォーカブルな空間へ

◆大仙公園 ※

▶百舌鳥古墳群の保全・継承と世界遺産の価値や魅力の発信
▶来訪者に魅力あるおもてなし環境を整備
▶関西の世界遺産や堺東・環濠・ベイエリアとの連携

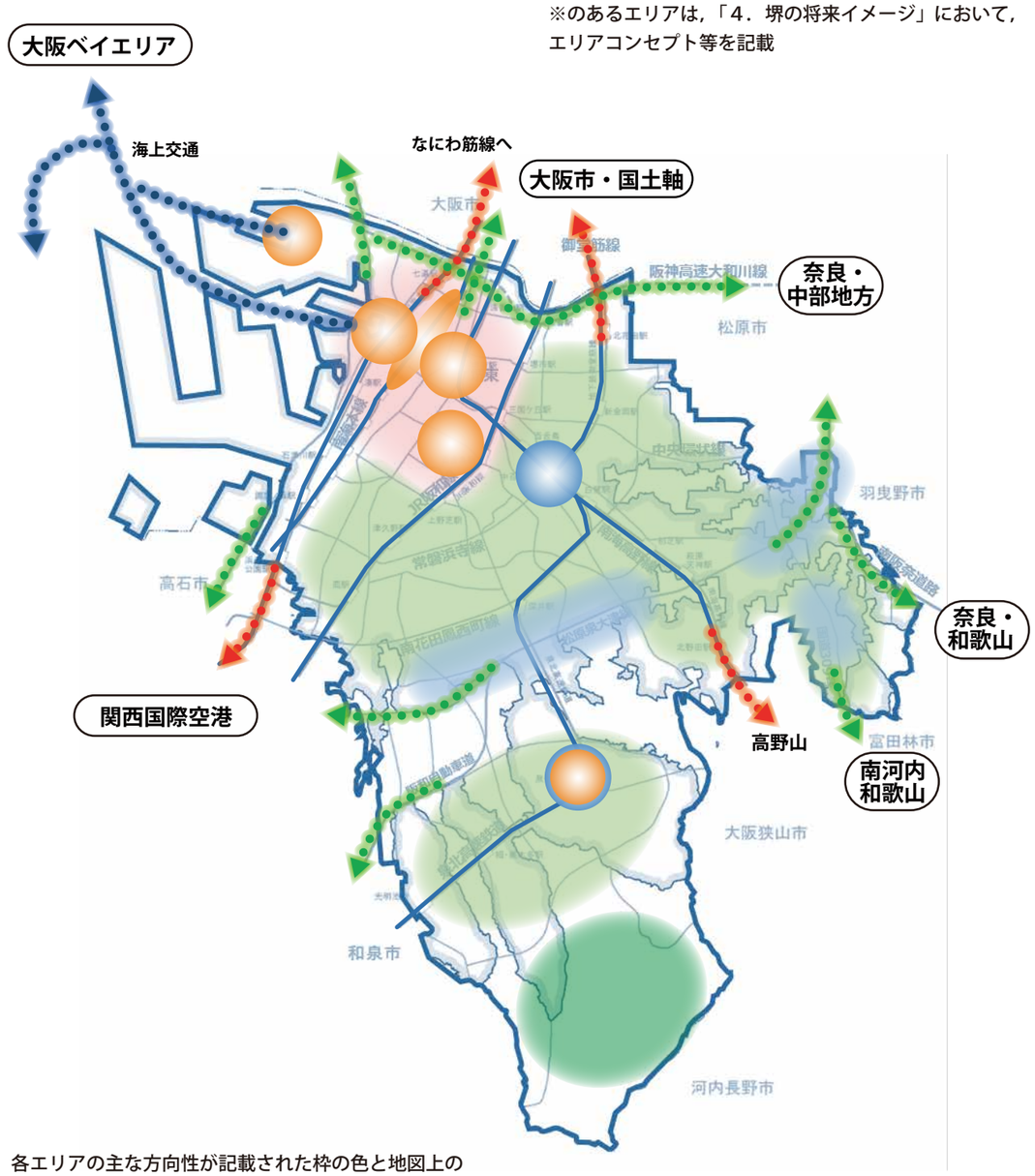
◆大和川沿川

▶高規格堤防と沿川地域の一体的整備により，安全安心で快適なエリアへ
▶自転車や川辺を活かした健康なライフスタイルを享受

◆鉄道沿線

▶周辺施設，地域資源の活用やPark-PFIの推進など，ポテンシャルを活かした駅前への都市機能（商業等）の誘導
▶豊かな住宅ストック等の活用による充実したライフスタイルを享受

※のあるエリアは，「4．堺の将来イメージ」において，エリアコンセプト等を記載



各エリアの主な方向性が記載された枠の色と地図上のゾーニングの色は，次のとおり連動しています．

枠	エリア	ゾーン		
			訪れたい	鉄道ネットワーク
			働きたい	高速道路等ネットワーク
			住みたい・住み続けたい	海上交通

◆臨海部

▶産業のイノベーションにより低炭素社会に貢献
▶先端技術や成長機会を取り込み，進化する産業集積

◆中百舌鳥（なかもず） ※

▶産業・研究に最先端テクノロジーが融合した新時代のクラスターへ
▶スタートアップを生み育み，大学や企業などが連携して生まれた新たなイノベーションに出会えるエリアへ

◆美　原

▶南河内，奈良へ結節する東の玄関口
▶立地ポテンシャルを活かし，309号等の広域幹線道路沿道等への企業進出により，人やものが集まり活気あるエリアへ

◆幹線道路沿道

▶松原泉大津線等の幹線道路沿道への企業進出等，新たな投資が生まれる

◆新金岡

▶豊かな緑や利便性を活かした魅力再生の住まい
▶中百舌鳥と連携・補完する住む・憩う・活動の場

◆泉ヶ丘 ※

▶ニュータウンのフロントランナーとして，ヘルスケア・商業・文化・教育等が集積するニュータウン再生のモデル
▶豊かな緑空間と多様な都市機能が融合する「21世紀型の田園都市」

◆南部丘陵

▶豊かな緑を保全し，将来に継承

4. 堺の将来イメージ

①堺東エリア

暮らす・働く・訪れる人がまじわる交流拠点へ

（スペイン・バルセロナ）

（アメリカ・ニューヨーク）

エリアのコンセプト

●商業・業務・観光・居住などの多様な都市機能の導入・強化を図ることで，魅力的な商業施設や生活利便施設などが集積し，多様な人々が集い，快適に過ごすことができる多様性のあるエリアへ．

●安全快適な歩行者空間や憩いの滞留空間を創出するなど，多様な人が安全・快適に過ごせる，歩行者が主役のウォーカブルな空間へ．

●行政・市民などが十分に連携を図り，エリアの良好な環境や価値を高めるとともに，まちに愛着や関心を持つ人を増やすなど，みんなで育てたまちに．

将来の人々の姿

●堺東駅周辺は，高架化に合わせて，魅力的な集客施設や，多くの人が滞留できるシンボル空間が整備されるなど一帯がダイナミックに生まれ変わり，多様な人で賑わっている．

●面的に更新された商店街周辺エリアには，魅力的な店舗が連続的に展開し，大規模にリニューアルされた瓦町公園周辺も含め，多くの人が歩いてまちを楽しんでいる．

●業務エリアは，魅力的なビジネス街が形成され，大手企業や起業家等の様々な交流が発生．

●モール化された大小路通り，まちなかの大規模オープンスペースとして拡充されたMinaさかいでは，芝生に寝転がったり，飲食や読書をするなどゆったりとした空間でくつろぐ人々の姿が見られる．

【ベンチマークとする都市・空間・機能】
- ・バルセロナ（スペイン）の歩きやすく回遊性が高い空間
- ・ニューヨーク（アメリカ）のまちなかに憩える空間がある風景

②堺駅・堺旧港エリア

BORDERLESS, AMENITY, AMUSEMENT, HARBOR

（ニュージーランド・オークランド）

（ノルウェー・オスロ）

エリアのコンセプト

●ボーダレスに広がる港や公園で居心地の良い豊かな海辺を体感．

●ハブ機能の充実と駅周辺を繋げる海辺のモールで快適な移動を実現．

●質の高いオフィス・宿泊・飲食施設で，昼も夜も優雅で贅沢に楽しめる港湾都市．

将来の人々の姿

●港や公園は一体的な空間へと生まれ変わり，体験型の水族館や新鮮な魚介が並ぶ市場で，海辺の豊かさを日々感じることができる．

●船旅の途中，仕事終わり，友人との再会，様々なシーンの人々が，海辺の屋台やダイナーでナイトタイムを満喫している．

●駅，港，公園を繋ぐハーバーグランモールは，買い物などを楽しむ人が行き交う，新たなまちのシンボルになっている．

●ゲートウェイ都市として，駅前や海上ターミナルはビジターやワーカーなどで活気づいていて，多様な交流からエッジの効いた「もののはじまり」が次々と生まれている．

【ベンチマークとする都市・空間・機能】
- ・オークランド（ニュージーランド）の商業施設やマリーナのある風景
- ・オスロ（ノルウェー）の心地良く，活気のあるボーダレスな海辺空間

4. 堺の将来イメージ

③中百舌鳥エリア

ちょっと先、もっと未来を体感できる街

コワーキングスペース

ピッチイベント

エリアのコンセプト

●産業，研究機関，人が集い，最先端テクノロジーとビジネスを創造する次世代クラスターへ．
●新たなイノベーションに出会い，つながりを楽しめるエリアへ．

将来の人々の姿

●新大阪や梅田，難波とのつながりにより人や企業が往来し，新大学等との産学連携による技術開発・研究開発が盛んに行われている．
●低・未利用地の高度利用や交通事業者との連携により，業務・商業・集客等の機能導入が図られ，交通結節点にふさわしい駅前の賑わいを見せている．
●スタートアップのエントリーポイントとして駅周辺では若者や学生，地域住民が起業家として活躍している．
●ICT関連オフィス，ラボが集積し，スタートアップと企業が結びつき，新たなビジネスが生まれている．
●ITとリアルテックの融合により，新たに生まれた技術やサービスに触れ，体験し，暮らす人も訪れる人も，だれもが快適に過ごし，学び，楽しむことができている．

【ベンチマークとする都市・空間・機能】
・オウル（フィンランド）のスタートアップや企業，大学の集積を活かしたITクラスター形成
・多くの人が行き交う活気ある駅前空間

④泉ヶ丘エリア

A Greener & Pleasant Village ～緑と喜びの共存～

（イギリス・レッチワース）

（オーストラリア・メルボルン）

エリアのコンセプト

●ニュータウンのフロントランナーとして，国内外事例のモデルとなるエリアへと変貌．
●「豊かな緑空間」と「多様な都市機能」が融合する「21世紀型の田園都市」へ．

将来の人々の姿

●泉ヶ丘駅前地域では，商業エリアの拡大，次世代ヘルスケア産業等の誘致，住宅・教育機関・公園等も含めた多様な機能の集積により，泉北ニュータウン地域の中心的拠点にふさわしい，グランドレベルで賑わいを感じられる駅前となっている．
●栂・美木多，光明池駅前においても，公園・道路・広場等の公共空間再編や利活用によりダイナミックに公民が連携するエリアとなっている．
●面的な公的賃貸住宅等の建て替えや開発の機会をとらえた緑化の充実により，「緑豊か」という泉北ニュータウン地域の魅力がさらに向上し，より身近に緑を感じることができる．
●IoT技術を活用した新型域内モビリティなどスマートシティ化を進め，様々な世代の快適な生活と，地域内での多様な働き方が可能となり，日々の生活を完結することができる．
●国内外から健康・職・食・多地域居住等を目的に多くの人が来街する地域となっており，ベッドタウンから生産・創造が生まれるエリアとなっている．
●様々な体験や文化・最新技術等を享受できる公園・図書館・歴史的価値の高いリノベーション建築物等からなる拠点となっている．
●エリア内の公民の所有資産が統一的にマネジメントされ，効率的に管理されているとともに活性化している．
●田園地域では，先端技術を取り入れた都市型農業が行われ，市内外の店舗や飲食店に新鮮な農産物を提供している．また，海外に通用するような農産物が生産されている．

【ベンチマークとする都市・空間・機能】
・レッチワース（イギリス）の田園地域に隣接した立地での，ゆとりある空間を有する田園住居
・メルボルン（オーストラリア）の様々な機能が集積し，多様な地域から人が集う都市

4. 堺の将来イメージ

⑤大仙公園エリア

未来へ継承していく全国16万基の古墳の聖地

エリアのコンセプト

●百舌鳥古墳群の保全・継承と世界遺産の価値や魅力の発信

・1600年にわたり保全されてきた古墳群を適切に後世に継承していくとともに，世界遺産の価値や魅力を堺の歴史文化とともに内外に発信．

●内外の多くの来訪者にとって魅力あるおもてなし環境

・関西国際空港や大阪市内の各拠点（難波，夢洲・咲洲等）と近接した地の利を活かし，関西の世界遺産との連携を強化し，継続的に内外から人々が訪れ，交流し，新たな価値を創造．

・これら効果を堺東エリアや環濠エリアに波及させ，市内全域の活性化につなげる．

将来の人々の姿

●JR百舌鳥駅に降りた来訪者は，静かで厳かな空間を通って仁徳天皇陵古墳を訪れる．

●古墳の雄大さを体感できる気球が運行され，公園内にはカフェやレストランなどで人々がくつろいでいる．

●仁徳天皇陵古墳隣接地に整備された博物館やガイダンス機能，美術作品の展示機能を備えたミュージアムに多くの人が集い，世界遺産の価値や堺が有する美術作品などにふれている．

●大仙公園の芝生広場には体験型施設等が整備され，多くの公園利用者で賑わっている．

※本エリアについては，2030年の概成を当面の目標として取り組みます．

⑥環濠エリア

“環（わ）”で彩る歴史文化・環濠都市

（アメリカ・サンアントニオ）
出典：水辺とまちの未来創造メッセージ（国土交通省）

（長野県長野市）

エリアのコンセプト

●環濠を活かした水辺や歴史的なまちなみなど，堺ならではの魅力を高めるとともに，それらを環（わ）（ハードやソフトによるネットワーク）で結ぶことで，国内外から人が訪れる活気あるエリアへ．

●自治都市として繁栄してきた堺の歴史文化や伝統産業などに触れ，感じる機会や，新たな魅力の創出などにより，愛着を持てる個性あるエリアへ．

将来の人々の姿

●身近にアクセスできるオープンな空間となった環濠に人が訪れ，水辺に面したカフェなどでくつろいでいる．また，環濠を通じて海辺・港とまちが結ばれ，船での観光や回遊を楽しんでいる．

●町家などの歴史的建築物や景観に配慮した建物と美装化・無電柱化された道路により，堺ならではの歴史的なまちなみが再生されている．

●歴史的なまちなみを楽しむだけでなく，町家カフェを訪れたり，町家を利用した施設に宿泊したりと，非日常の特別感を味わい，その独特な雰囲気に魅了される．

●大道筋，大小路では，シンボリックで人中心のストリートデザインにシフトされ，買い物や食事などを楽しみながら，心地よく歩き回ることができる．

●歴史的なストーリーも感じられる体験型観光や回遊ルートなどにより，歴史文化や伝統産業などの魅力を体感するとともに，かつての環濠都市堺の歴史に思いをはせる．

●今ある資源とともに新たな魅力が生まれ，それらエリアがつながる中，堺の今と昔を感じながら，まち歩きを楽しんでいる．

【ベンチマークとする都市・空間・機能】

・サンアントニオ（アメリカ）の身近に開かれたアメニティな水辺空間

・長野市（長野県）の歴史的なまちなみ形成，歩行者優先のストリートデザイン

4. 堺の将来イメージ

⑦堺浜エリア

幸せをシェアする海辺の楽園

エリアのコンセプト

●再生されたかつての海辺で，癒しと寛ぎを体感できるアーバンビーチリゾート．
●J-GREEN堺との相乗効果により，オールシーズンで多様なアクティビティを楽しめるスポーツアイランド．

将来の人々の姿

●シーカヤックやグランピングなどの体験を通じて，全身で海を感じ，豊かさの中で自然を満喫している．
●桟橋のそばにあるレストランで，新鮮な魚介を味わいながら，会話が盛り上がっている．
●ショップやホテルが立ち並ぶ海辺のボードウォークは，先端の公園へ向かうモビリティや，買い物やジョギングなどを楽しむ人で活気づいている．
●ホテルでの朝食の後は，心地よい潮風のもとでのビーチバレーや，季節を問わずに楽しめるスパやジムなどで汗を流してリフレッシュしている．

【ベンチマークとする都市・空間・機能】
・マリンアクティビティ，ビーチリゾート，海上レストランなどがある風景

4. 堺の将来イメージ ～交通・モビリティ

時間と空間のシェアリング
～フレキシブル・コネクト・シェアリングでつくる交通～

【コンセプト】

- ウォーカブルな人中心の快適で魅力的な都市空間の形成
- 個々の移動距離や需要に応じた交通手段の提供，交通ネットワークの機能強化と活用
- 自動運転技術・新たなモビリティの活用や，モビリティ・サービスによる移動環境の充実
- ICT・電動化等の技術の進展と環境整備による低炭素化・持続可能な社会の実現

【20 年後の姿】

広域ネットワークの形成

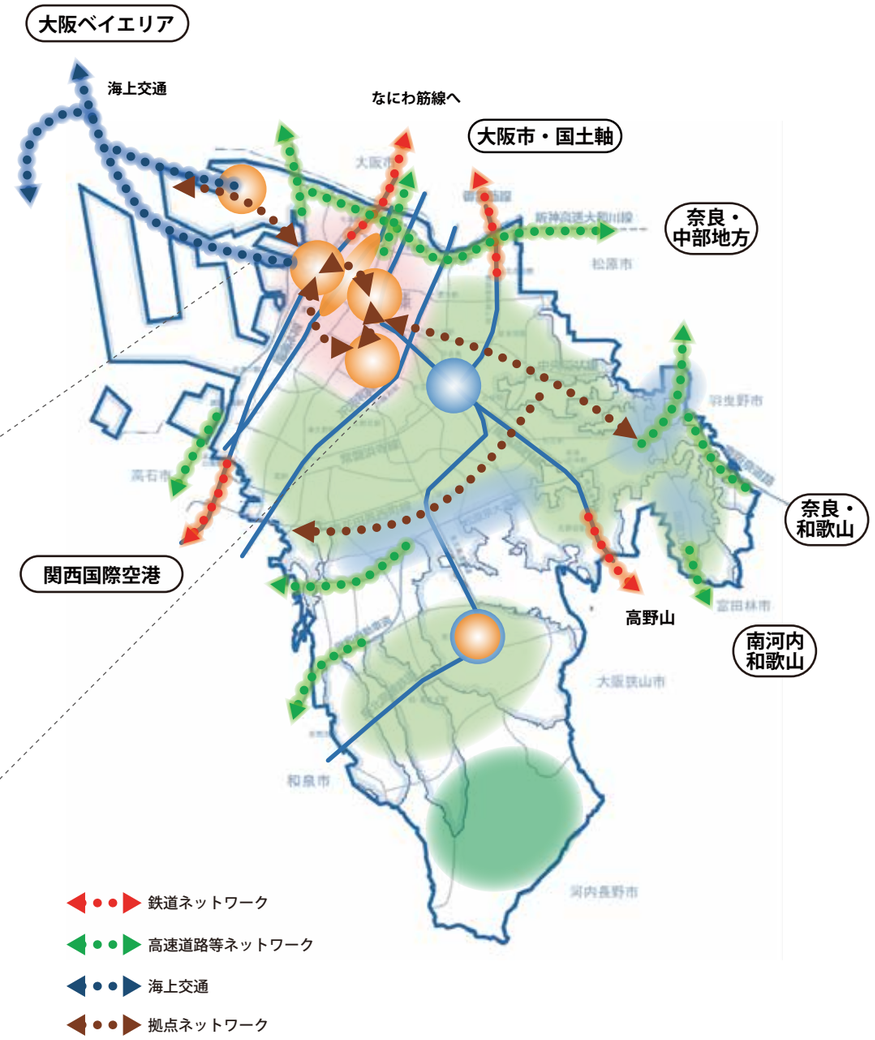
- なにわ筋線開業を契機とした本市の関西国際空港・大阪都心部や国土軸とのアクセス性の向上
- 阪神高速大和川線の開通を契機とした高速道路等の活用による中・長距離の交通ネットワークの充実
- 海上交通による大阪ベイエリアや関西国際空港との移動手段の確保
- 大阪モノレールの延伸による周辺都市や市東部地域とのアクセス性の向上（超長期）

新たなモビリティ・サービスの融合

- 自動運転技術・コネクテッドカーの普及，超小型モビリティの導入やシェアリングの普及など，交通を取り巻く環境は大きく変化
- MaaSの高度化をはじめ，ICT技術の活用などにより，個々の移動需要に応じて交通手段が提供される環境に変化
- 顔認証も含むキャッシュレス決済やサブスクリプション化など，公共交通などの利用環境に変化
- 環境関連技術の進展やインフラ整備により，電動車（EV・HV・PHV・FCV）が急速に普及（低炭素化）
- 物流の最適化に加え，輸送・小売の統合による無人移動サービス化など，身近な生活環境に変化
- 社会全体を最適化するスマートシティの進展により，土地の利活用や都市空間のあり方も変化

拠点ネットワークの形成

- 堺駅・堺旧港エリアと堺東エリアを結ぶ新たな交通システムの導入
- 都心地域と大仙公園エリア，臨海，美原の拠点などをつなぐ交通ネットワークの機能強化
- 人中心の快適で魅力的な都市空間の形成に向けた車から公共交通などへの転換・モール化の推進
- 交通ネットワークの機能強化とあわせ，新たなモビリティの活用も含めた人に優しい面的な移動環境の形成



人中心の快適で魅力的な都市空間形成

（フィンランド・ヘルシンキ）

交通ネットワーク形成

（スペイン・セビリア）

（フランス・メス）

新たなモビリティ（自動運転バス）活用

2019年度グッドデザイン賞受賞／写真提供：JDP　（フィンランド・エスポーほか）

メッセージ

堺グランドデザイン2040は，市長と語り合いながら，未来を担う堺市の若手・中堅職員が中心となって，堺の未来への思いを形にしたものです.

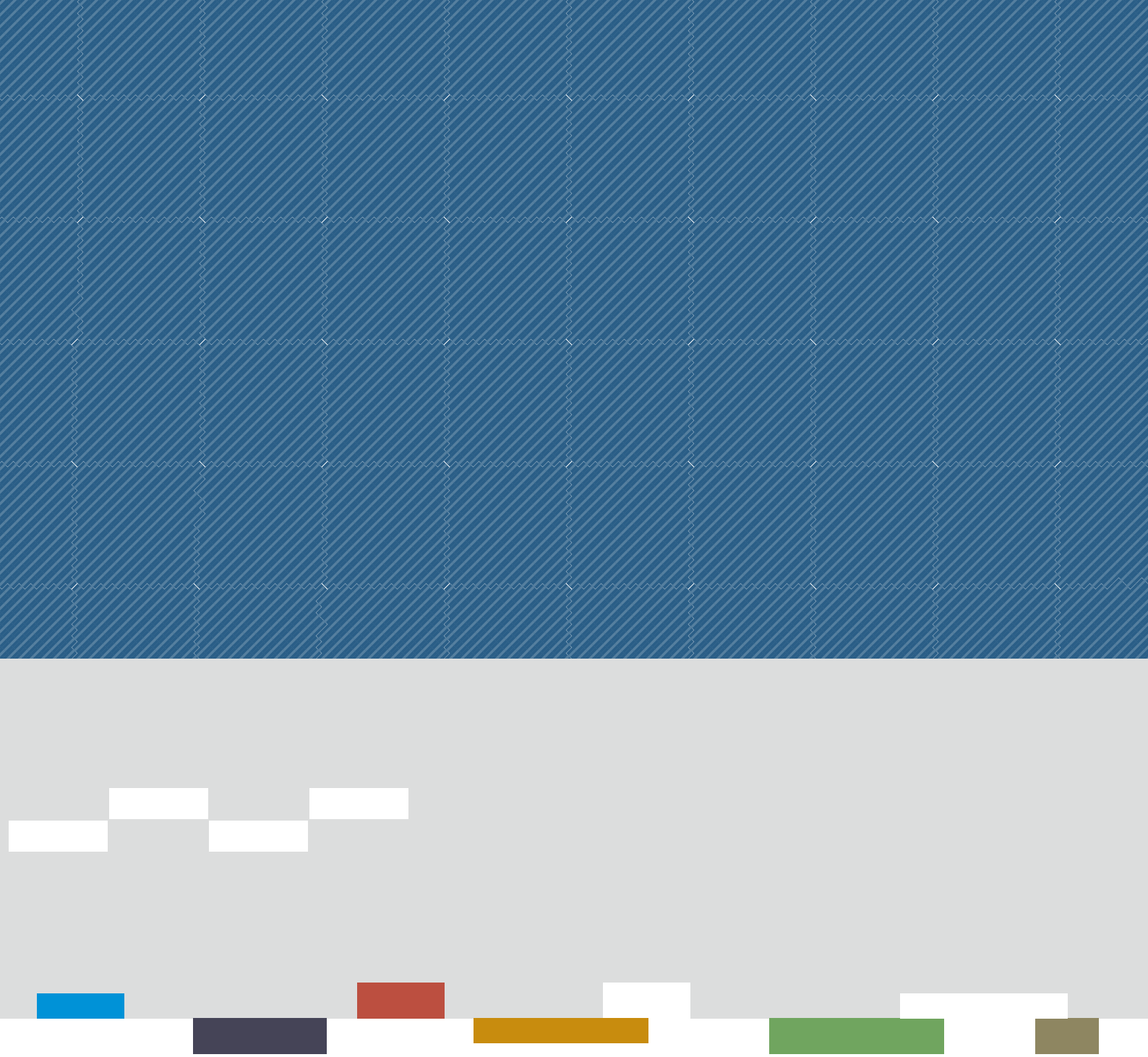
古代の百舌鳥古墳群にはじまる歴史・文化や，打刃物などの伝統産業，わが国有数の産業集積，良好な住環境，海・水・緑といった豊かな自然など…各時代に先進して培ってきた堺の強みと，これからの社会情勢や技術革新などを想定してまとめました.

歴史文化を感じられる，訪れたくなる，楽しそうな，企業が集まる，活気がある，住みたくなる都市・堺へ.

今後，みなさんと一緒に実現に向けて取り組んでいきたいと考えています.

堺グランドデザイン2040

2020年2月

堺市 建築都市局 都市計画部 都市計画課

TEL 072-228-8398／FAX 072-228-8468